

大雨が続きそう...

台風が来るかも...

# あなたはいつ・何をやる？

—マイ・タイムラインと日頃の備え—

今年は、「平成5年の8・6豪雨災害」から30年の節目の年。今月号と一緒に配布している防災リーフレットでは、当時の被害状況などを紹介しています。

過去の教訓を生かし、災害が迫る前に準備できることを紹介します。

【危機管理課 ☎216-1213 FAX226-0748】



8・6豪雨災害時の本市の被害の様子

緊急安全確保	避難指示	高齢者等避難	2日前～半日前	3日前	備えまでの時間・避難情報
	<b>災害発生</b>	<b>気象状況悪化 (災害のおそれ)</b>			
<b>5 大雨特別警報など</b>	<b>4 土砂災害警戒情報など</b>	<b>3 大雨・洪水警報など</b>	<b>2 大雨・洪水注意報など</b>	<b>1 早期注意情報</b>	計画内容
身の安全を確保	気象情報などを把握し、避難に要する時間に応じて避難を開始		雨風が強くなる前に避難に必要な準備を済ませる		計画例
・直ちに高くて頑丈な建物で身の安全を確保	・避難所へ避難する ・(自宅が安全な人は)外出しない	・気象情報の確認 ・隣の一人暮らしのおばあちゃんに声をかけ避難	・気象情報の収集 ・携帯電話の充電 ・避難しやすい服装へ	・非常持出品を確認 ・1週間分の薬を準備 ・避難所・避難方法の確認	わたしの計画 (空欄に書いてみましょう)

ここまで避難を完了

## ③ あなたのマイ・タイムラインを作ろう

②を基に、避難や準備にかかる時間を考えて作りましょう。

災害の危険性が高まったときに自分自身が取れる防災行動を、時系列に整理してまとめた計画表を「マイ・タイムライン」といいます。①～③の手順で、自分に合ったマイ・タイムラインを作ってみましょう。



市ホームページ

## 今すぐ確認・作成しよう！ マイ・タイムライン

大雨や台風が近づいているとき、いつ頃から準備を始めていますか。高齢者がいる世帯や单身世帯など、それぞれの世帯によって避難にかかる時間は違います。

## ① 自宅の安全を確認しよう

まず、防災ガイドマップ(ハザードマップ)やかごしまマップで、自宅が洪水浸水想定区域など(色が塗られている箇所)に入っているか確認します。



防災マップ

土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊 土石流 地すべり
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 土石流
洪水浸水想定区域	5.0m以上 3.0m～5.0m未満 0.5m～3.0m未満 0.5m未満
家屋倒壊等氾濫想定区域	氾濫流 河岸侵食

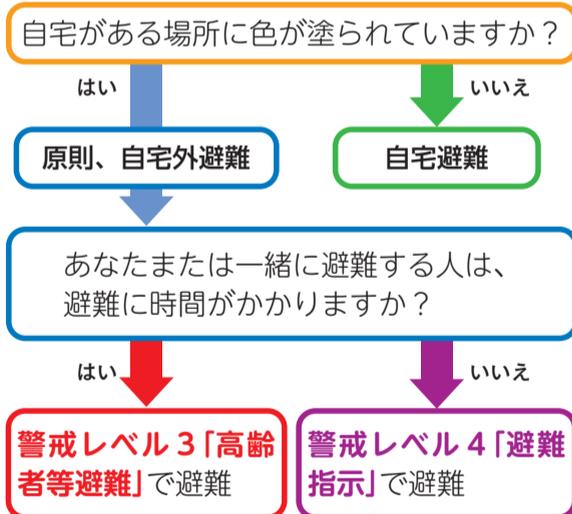


かごしまマップ



防災ガイドマップ

## 避難行動判定フロー



「避難行動判定フロー」で、あなたの取るべき避難行動を確認します。

## ② 取るべき避難行動を確認しよう

## マイ・タイムラインの3つの心得

1. 行動の目安にする
  2. 気象情報や避難情報などを小まめに収集・確認する
  3. 収集した情報を基に臨機応変に行動する
- 風水害は自然現象であり、想定した通りに進むとは限りません。



危機管理課 平山 主任

## 日頃から備えよう！ 備蓄品・非常持出品

災害により、ライフラインが止まったり、大雨や台風の接近が早まって準備をする時間が短くなったりすることも考えられます。日頃から「備蓄品」や、避難するときに持ち出す「非常持出品」を準備しておきましょう。

### 備蓄品



普段から少し多めに食材・水などを買っておき、使ったら使った分だけ買い足して、常に一定量の食料を備蓄する「ローリングストック法」がお勧めです。

### 非常持出品

自宅外避難をするときに、自宅から緊急的に持ち出すものです。1～2泊できるくらいの生活用品などを備えましょう。



赤ちゃんがいる人はオムツやミルク、女性には生理用品、持病のある人は薬など、それぞれ必要なものは異なります。

自分や大切な人の命を守るため、日頃から備えましょう。



危機管理課 益満 主任